

平成27年度 第21回日本マングローブ学会大会プログラム  
東京農業大学世田谷キャンパス 1号館542教室

平成27年12月12日 (土)

- 9:30 受付開始
- 10:00-10:20 ドローン・SfM技術がマングローブ研究に及ぼすインパクト  
渡辺 信(琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設)
- 10:20-10:40 マングローブ*Avicennia marina* 種子のカルス誘導をカルシウムが阻害する  
笹本 浜子 (横浜国立大学、神奈川大学・総理研)
- 10:40-11:00 オヒルギ*Bruguiera gymnorhiza* の窒素獲得機構  
井上 智美 (国立環境研究所)
- 11:00-11:20 マングローブ3種の葉の形質と立地の違いによる被食の差異  
佐藤 泰介 (横浜国立大学大学院)
- 11:20-11:40 メヒルギ幼苗生育培地の抗菌活性  
本間 知夫(前橋工科大学)
- 11:40-13:00 昼 食
- 日本マングローブ学会役員会 1号館541教室) 12:00-13:00
- 13:00-13:20 ベトナム、カンザー地区の放棄塩田における植林最適樹種の選定  
古谷 一将(南山大学)
- 13:20-13:40 今、なぜ、マングローブ・ポータルサイトの開設か  
ーポータルサイト構成と、データ収集に関するご協力のお願ひー  
馬場 繁幸 (国際マングローブ生態系協会)
- 14:00-16:15 公開特別講演 (1号館542教室)  
「マングローブ研究の最前線」  
14:00-14:05 趣旨説明 (南山大学総合政策学部・藤本 潔氏)  
14:05-14:30 講演 I「マングローブ林の生態系純生産量(NEP)に関する研究」  
(岐阜大学流域圏科学研究センター・大塚 俊之氏)  
14:30-14:55 講演 II「マングローブ生態系における食物連鎖・炭素循環におけるカニの役割」  
(高知大学農学部・池島 耕氏)  
14:55-15:20 講演 III「マングローブ林の保全と再生に必要な遺伝的多様性の解析」  
(琉球大学熱帯生物圏研究センター・梶田 忠氏)  
15:20-15:45 講演 IV「マングローブ主要構成種の地下部生産・分解プロセスと立地環境の関係」  
(南山大学総合政策学部・藤本 潔氏)  
15:45-16:15 総合討論
- 16:15-16:40 総 会 1号館542教室
- 16:40-18:40 懇 親 会 1号館541教室

平成27年12月13日（日）

- 9:30 受付開始
- 10:00-10:20 西表島船浦湾マングローブ林におけるヤエヤマヒルギとオヒルギの細根生産量  
小野 賢二(森林総合研究所東北支所)
- 10:20-10:40 亜熱帯マングローブ林における粗大有機物の分解呼吸特性  
友常 満利(神戸大学農学研究科)
- 10:40-11:00 石垣島吹通川河口マングローブ林における土壌有機炭素の貯留機構：海水塩の影響について  
藤嶽 暢英（神戸大学大学院）
- 11:00-11:20 世界のマングローブ林の何処が脆弱なのか(予報)  
宮城 豊彦（東北学院大学）
- 11:20-11:40 SfMを用いたマングローブ域の地形・植生再現性の検証  
—沖縄県西表島で実施例—  
宮城 豊彦（東北学院大学）
- 11:40-12:00 汎熱帯海流散布植物ハマアズキを用いた太平洋内の「見えない障壁」の探索  
山本 崇(千葉大学大学院)
- 12:00-12:20 メヒルギの矮性化に及ぼす環境要因の影響  
谷口 真吾（琉球大学農学部）
- 12:20-12:40 海面上昇に伴ってマングローブ泥炭堆積域で今起こりつつあること  
藤本 潔（南山大学）